

農山漁村地域整備計画評価調書

計画の概要	計画の名称	未来へつなぐ希望あふれる「にいがた」農業農村整備計画(2期)
	計画策定主体	新潟県
	対象市町村	村上市、関川村、新発田市、阿賀野市、胎内市、聖籠町、五泉市、阿賀町、新潟市、燕市、弥彦村、三条市、加茂市、田上町、長岡市、見附市、出雲崎町、小千谷市、魚沼市、南魚沼市、湯沢町、十日町市、津南町、柏崎市、刈羽村、上越市、妙高市、糸魚川市、佐渡市
	計画期間	令和7年度～令和11年度(5年間)
	計画の目標	誰もが未来に希望を持って農業に取り組める農村を創造するため、経営の多角化・複合化などを図り、担い手の求める営農が実現できる農業生産基盤の整備を推進するとともに、農業を継続・発展させるために農村地域の生活環境の整備を行い、「農業者の所得向上」と「農村の活性化」を目指す。
	評価指標	【農地整備】 ・農業者の所得向上を図るため、計画期間内に基盤整備を完了する整備対象地区における担い手への農地集積率の増加(60%→80%) ・農道の安定的な機能確保のため、整備対象地区において個別施設計画に基づく保全対策及び点検・診断を実施した割合(0%→100%) 【水利施設整備】 ・用排水機能の安定的な確保のため、整備対象地区において機能保全計画に基づき補修や更新等の対策に着手した割合(0%→100%) 【農村整備】 ・中山間地域における生産条件不利農地での経営の維持・発展のため、計画期間内に基盤整備を完了する整備対象地区における生産基盤を契機とした農地集積率の増加(33%→80%) ・農業集落排水施設の安定的な機能確保のため、処理水の水質(BOD:20mg/L、SS:50mg/L)を維持する地区の割合(100%を維持) 【農地防災】 ・計画期間内に整備を完了する整備対象地区において、災害のおそれがある農地面積の減少(24,451ha→0.0ha)
	対象事業	農地整備事業(175地区)、水利施設整備事業(145地区) 農地防災事業(125地区)、農村整備事業(30地区)、効果促進事業(1地区)
	全体事業費	576,643,240千円 (計画期間に関わらず対象事業地区全体の総事業費を記載)

評価	項目	評価細目	評価	説明欄
	目標の妥当性	1 関連する計画との整合性が図られているか	○	県の総合計画の方向に基づき策定しており、整合性が図られている。
		2 地域の課題に適切に対応する目標となっているか	○	地域の課題解決に必要な、担い手の求める営農が実現できる農業生産基盤と農村地域の活性化を図るための生産基盤や生活環境整備の推進を目標に掲げており、目標として妥当である。
	整備計画の効果・効率性	1 整備計画の目標と定量的指標の整合性がとれているか	○	目標達成に向け、定量的で整合の取れている指標となっている。
		2 事後評価ができる適切な指標となっているか	○	構成事業の事業完了時に成果を確認することで評価が可能である。
		3 構成事業の実施による効果を評価するための指標として適切なものとなっているか	○	構成事業の実施により発現する効果として適切な指標となっている。
	整備計画の実現可能性	1 円滑な事業執行の環境が整っているか	○	県地域振興局農業振興部等、関係市町村、土地改良区で円滑な事業執行の体制が整っている。
		2 地元の気運が醸成されているか	○	地元の実施意欲が高く、十分な合意形成が図られている。
	評価結果	評価 I 事業を実施 評価 II 計画の見直し		[評価基準] 「評価 I」は全項目に○印がついている 「評価 II」は1項目でも×印がついている